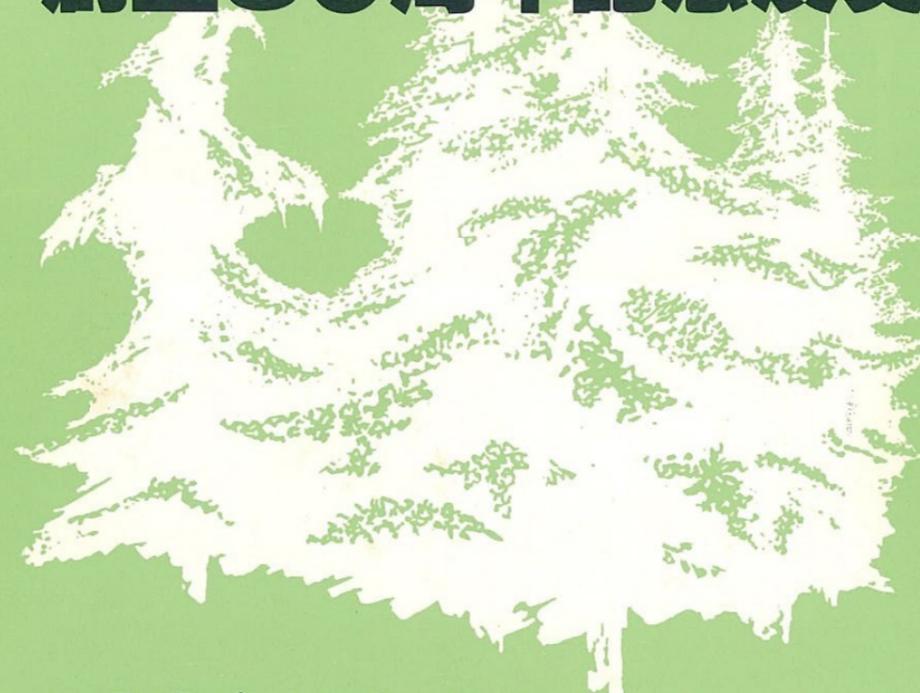


Seinan Chantours

**西南シャントゥール
創立30周年記念演奏会**



1984. 10/12 <FRI>
福岡銀行本店大ホール

- 主催 / 西南シャントゥール
- 協賛 / 西南学院



Ah Seinan!

'Neath the stately pines

By the ocean blue

Stands our college fine,

To thee we'll be true, be true.

Ah Seinan! dear Seinan!

May thy sweet mem'ries linger long;

Ah Seinan! dear Seinan!

For thee we will be true and strong.



西南学院院長
C.L.ホエリー

シャントゥール合唱団の30周年記念リサイタルに、心よりお祝いを申し上げます。西南学院グリークラブOBの有志で結成された貴コーラスは、長い間、音楽によって西南学院の精神を伝え続けてきています。在学中厳しい学習の中、自ら進んでグリークラブに参加していたメンバーは、卒業後職業を別にしながら、ご多忙中またボランティアとして練習を続けています。特に西南学院の理事であるOB会長の徳永麟之助氏がシャントゥールの代表として献身的な働きをされているのです。西南学院に音楽がどれほど大事であるかは、グリークラブの63年の歴史が語っていますが、シャントゥール合唱団が文字どおり、その象徴として30年間シャントゥール(歌うという意味)を続けていることは真に感謝すべきことでもあります。

国際時代と言われている今日において、習慣と言葉の違いを超えて、世界の人々を一つにすることの出来るものがあるとなれば、それが音楽であると言って過言ではないでしょう。それによって真の愛と平和が伝えられ、本当の自由の意味が示され、人々がお互いに一つになるだけでなく、神と人間も結ばれるでしょう。

今後もシャントゥールの歌がいつまでも継続されるよう、祈ってやみません。



西南シャントゥール代表
徳永麟之助

本日は皆様ご多忙中にも拘わりませず、ご来場賜わり誠に有難う存じました。

すでにご承知のことと思いますが、シャントゥールと申しますのは、嘗って西南学院(高等学部、専門学校、大学)に在学中グリークラブに在籍し、めしを喰うことも忘れる位に歌いまくっていた連中が社会人となっても男声合唱のハーモニーが忘れられず有志相集うて歌っている者の合唱団です。母校西南学院につらなる絆と男声合唱のハーモニーの魅力に魅せられて集まり初めて何とはなしに30年を経過しました。創立30周年を祝う事業として単独演奏会を思い立ったわけです。現在シャントゥールのメンバーは昭和初期の卒業生から昨今卒業した社会人までの広がりの中で約40名のメンバーがいます。社会人なり立ての者から、会社の部課長の要職や事業をやっている責任者等々様々です。嘗って来日したドイツのリーダー・ターフェルフェライン(ドイツの社会人男声合唱団)のメンバーは年金生活者から20代の社会人まで、職人あり会社人ありで様々ですが、そのハーモニーの素晴らしさは世界にも冠たる者で、我々はそんな合唱団に一步でも近づきたいと念願して練習を積んでまいりました。しかしこの様な社会人の集りであるために一定の日時に一堂に会することが仲々うまく実行出来ません。これを克服しなければいい合唱を作り出すことは困難なのですが、この難関を克服することに努力を集中する有様です。又今回のレパートリーもドイツ歌曲、宗教曲、カンツォーネ、日本の歌等様々ですが、果してどこまでこなせるか、男声合唱の醍醐味が表現出来るか甚だ疑問です。御来場いただきまして果して御批判に堪え得るか心配ですが、一生懸命に歌うつもりです。最後までお聴き戴ければ幸いです。

重ねて今夕の御来場の程を厚く御礼申し上げますと共に今後共益々の御鞭撻をお願い申し上げます。



PROGRAM

I 男声合唱組曲「柳河風俗詩」

- | | |
|----------|-----------|
| 1 柳 河 | 作 詩／北原 白秋 |
| 2 紺屋のおろく | 作 曲／多田 武彦 |
| 3 かきつばた | 指 揮／内海 敬三 |
| 4 梅雨の晴れ間 | |

II シューベルト合唱曲より

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1 Die Nachtigall | 指 揮／内海 敬三 |
| 2 Ständchen | ピアノ／井上 良子 |
| 3 Ave Maria | ホルン／中野 行倫 |
| 4 Nachtgesang im Walde | 藤重 佳久 |
| | 三好 隆三 |
| | 高木 和敏 |

————— 休 憩 —————

III 宗教曲集

- | | | |
|----------------------|----------------|-----------|
| 1 Kyrie | 作 曲／A.Duhaupas | 指 揮／内海 敬三 |
| 2 Gloria | C.Gounod | |
| 3 Miserere | G.Allegri | |
| 4 O Sacrum Convivium | C.G.Viadana | |

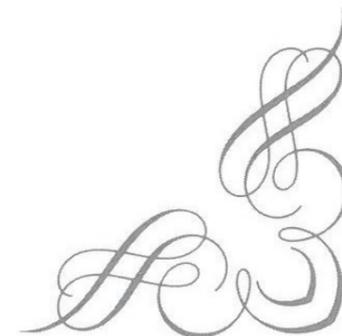
IV ブラームスの四つの女声合唱曲

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 琴の音かよへば | 作 詩／Ruperti | 指 揮／森川 和子 |
| 2 いざや来れ死 | Shakespeare | ピアノ／瀬川 啓子 |
| 3 園 丁 | Eichendorff | ホルン／東 正行 |
| 4 フィンガルの歌 | Ossian | 堀 裕之 |

————— 休 憩 —————

V イタリア民謡集

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1 Veni Sul Mar | 編 曲／内海 敬三 |
| 2 Non Ti Scordar Di Me | 指 揮／内海 敬三 |
| 3 Torna a Sorrento | ピアノ／井上 良子 |
| 4 Funiculi Funicula | |
| 5 Mamma | |





内海 敬三 <指揮>

昭和27年西南学院大学グリークラブの指揮者となり、28年度合唱コンクール全国大会に出場、三位入賞。29年大学卒業後、同期のメンバーと共に西南シャントゥールを結成、初代指揮者となり全国大会出場、三位入賞。
 其他、RKB男声合唱団、福岡合唱協会等の指揮を歴任、現在西南学院高等学校勤務。



井上 良子 <ピアノ伴奏>

西南短期大学部児童教育科卒業。
 ピアノを福島芳明氏、藪博之氏、赤木泉氏に、エレクトーンを近見綾子氏に師事。
 現在ヤマハ音楽教室講師、西南学院大学文学部児童教育科非常勤講師。

九州ホルンクラブ：中野 行倫

桐朋学園大学卒業。
 現在、九州交響楽団ホルン奏者。

藤重 佳久

武蔵野音楽大学卒業。
 元、東京シティーフィルハーモニー。現在、精華女子高等学校教諭。

三好 隆三

東京芸術大学卒業。国立ミュンヘン音楽大学修了。
 現在、中村学園大学教授。

高木 和敏

国立音楽大学卒業。
 元、東京交響楽団。現在、平野中学校教諭。

※九州ホルンクラブは九州在住のホルン専門家10名と大学生会員により結成された、演奏と研究の団体。

I 男声合唱組曲「柳河風俗詩」

福岡県柳川の生んだ詩人北原白秋の誌集『思い出』の中の4編の詩に、多田武彦(1930年生れ)が作曲した昭和29年(1954)の作品。第1曲「柳河」は、その年の全日本合唱コンクール男声合唱課題曲となった。その後は、日本の男声合唱組曲のスタンダード・ナンバーともいべき存在として、全国の男声合唱団に歌い継がれている。
 私たち西南シャントゥールも、身近かな場所である筑後柳川の風情をうたい上げた曲として、親しく愛唱する組曲である。

I 柳 河

柳河の夕暮れ時の詩情を、乗合馬車の馭者に託して歌う序章。
 本日の独唱は、メンバー最年長者であり、西南シャントゥール会長をつとめる徳永麟之助である。

III かきつばた

うらぶれた花街の女のわびしさを、水辺に咲くかきつばたに寄せて歌う。

II 紺屋のおろく

心ひかれる女性へのあこがれと、いらだちとが交互にからむ複雑な男心の機微を、ブラックユーモア風に表現して妙。

IV 梅雨の暗れ間

町はずれに舞台を張った旅役者の一行を、まわる水車の軽快なリズムに乗せて、ユーモアとペーソスで描く。

COFFEE FUJIKAN

藤館

FUJIKAN

●福岡天神東急店 ●博多駅ビル一階店 ●天神朝日会館一階店 ●天神ビブレB1店

II シューベルト合唱曲より

シューベルト (Franz Schubert 1797-1828) が活躍した当時のヨーロッパ、特にドイツでは、教会や歌劇場での合唱演奏とは別に、アマチュアの「合唱運動」が盛んな時期で、一般市民のために合唱曲が作られ歌われていた。そして、シューベルトも、機会あるごとに彼の仲間や身近かな合唱団のために作曲し、みずからも仲間とつどい歌ったという。

従って、シューベルトの合唱曲の多くは、男声のための合唱曲、四重唱曲が主となり、それに独唱を加えたり、その時々で、ギターやピアノ、あるいはホルンなどの伴奏が付けられたりした。

本日のプログラムの中の第1曲「ナイチンゲール」と第4曲「森の夜の歌」が、その様ないきさつで出来た曲である。

I. Die Nachtigall [ナイチンゲール:夜啼鳥]

「3つの男声四重唱曲」(Op.11)の中の第2曲(D724)。ウンガー(J.K.Unger)の詩に作曲されたもので、1821年4月の作。

ナイチンゲールの啼声に、悲しみの心も幸せにつつまれるというナイチンゲール讃歌。

II Ständchen [セレナーデ:小夜曲]

これは歌曲集「白鳥の歌」(D957)の第4曲に収められているが、この曲だけ単独で歌われる事も多い。あまりにも有名なセレナーデである。

III Ave Maria [アヴェマリア]

原曲はスコット(Scott)の詩に作曲された独唱曲(D839)であり、数多いアヴェマリアの中でも特に有名な曲であるが、本日の演奏のように、合唱曲に編曲され、ラテン語の歌詩によって歌われる事も多い。

IV Nachtgesang im Walde [夜の森の歌]

サイドゥル(J.G.Seidl 1804-1875)の詩による1827年4月の作曲(Op.139)。ホ調のホルン4本を伴奏とする美しく変化に富む曲である。美しい森と静かな夜との出会いを叙情的に歌い上げる。

絵画用品・デザイン用品・額縁・ホビークラフト用品

山本文房堂

本店	中央区大名2丁目4-32	(751) 4342
すみちか店	中央区天神2丁目住友生命ビル地下	(721) 0163
地下街店	中央区天神2丁目地下3号313	(771) 2727
西新岩田屋店	早良区西新4丁目1西新岩田屋3階	(821) 1111

III 宗教曲集

ローマカトリック教会が、ラテン語を典礼用語とし、代表的典礼歌としてグレゴリオ聖歌がまとめられてから今日まで、1000年以上のヨーロッパを中心とするキリスト教とその音楽の流れの中で、数多くの作曲家によって宗教合唱曲が書かれているが、その中には、実際に、教会の典礼、礼拝には歌われていない、逆にいえば、ミサ曲の形式を借りた演奏会用の合唱曲も沢山存在している。本日演奏する第1曲キリエ、第2曲グローリアなどは、その例といえる。

I Kyrie [キリエ]

デュオーパ(Albert Duhaupas)作曲「荘厳ミサ」の中の曲。デュオーパは、19世紀後半に、フランスのアラス大寺院でオルガニストと合唱指揮者をつとめた。この曲は、当時のフランス合唱運動オルフェオンの中心的存在であったフランス男声合唱団協議会のパリ大会のために作曲された。

II Gloria [グローリア]

グノー(Charles Gounod 1818-1893)の作曲した「ト調の第2ミサ曲」(Second Mass in G)の中の曲。このミサ曲も、当時のフランス合唱運動の活動のために作曲されたといわれる。

III Miserere [ミセレレ]

これは1630年、ヴァチカンのシスティン教会の聖歌隊員であったアレグリ(Gregorio Allegri 1582-1652)によって作曲された。歌詩は詩篇50(新約聖書 詩篇51)によっている。なお、原曲には最高音C³音を使った装飾音が書かれ、聞く人を驚かせた所から、世に「有名なミセレレ」(The famous Miserere)と呼ばれている。

IV O Sacrum Convivium [おお聖なる宴]

この簡潔な曲は、ヴィアダナ(Codovico Grassi Viadana 1564-1645)の作曲による。パンとぶどう酒による聖餐を通して、受難のキリストを思い、あがめ讃える。

MAIZURUDO

有限会社 舞鶴堂印刷所

tel 741-4964

〒810 福岡市中央区黒門6番3号

IV ブラームスの四つの女声合唱曲

ローマン派音楽開花の一端を担うとされるブラームス(Johannes Brahms 1833-1897)の音楽は、いわば保守的でドイツ音楽の伝統をしっかり踏まえたものと云えよう。しかもその中に中世・バロックのスタイルに少なからず影響された巧妙な多声的処理やジプシー音楽の影、そしてプロテスタントのコラール手法が各所に見られ、それ等がすべて統合されてブラームス独特の壮大な効果と壮重な風格とを生み出している。

短い期間ではあるが、ブラームスは女声合唱団を指揮する機会を持った。そのことが恐らく彼がいくつかの女声合唱曲を作曲した由縁であろう。

四つの女声合唱曲はルペルティ、シェークスピア、アイヒェンドルフ、オシアン等四人の詩に作曲されたもので、1860年に初演され、Op.17として1862年に出版された。ブラームスの特徴がそここに感じられるオーソドックスな品格ある整った合唱曲である。

本来伴奏は二つのホルンとハーブによるものであるが、今宵はハーブをピアノに替えて演奏する。

贊助出演をするにあたって

皆様、こんばんは。今宵西南シャントゥール創立30周年記念演奏会で、微力ながら第4ステージを務めさせていただきます西南学院大学フラウエン・コールです。今回、私達の大先輩である西南シャントゥールの皆様の演奏会に贊助出演できますことを大変嬉しく思っております。

我がクラブは現在4年生5名、3年生5名、2年生6名、1年生10名、計26名の少人数ではありますが例年に比べ1年生の人数がやや多く、活気に満ちた練習を森川先生の熱心な御指導のもと行っております。

今宵演奏致しますBrahmsの「四つの女声合唱曲」では、私達の団としては初めてのドイツ語に挑戦してみました。私達なりに仕上げたBrahmsの世界を皆様に少しでも感じていただくことができましたらと願っております。また今回のステージは12月18日(火)、ももちパレスで行いますフラウエン・コール第16回定期演奏会にて再演致します。そちらの方も皆様に御来聴いただけましたら幸いに存じます。

最後に、この紙上をお借り致しまして今回のこの演奏に御協力下さいましたピアノの瀬川啓子先生、ホルンの東正行さん、堀裕之さんに厚くお礼申し上げます。



森川 和子 <指揮>

声楽を安田ヤス女史、奥田智恵子女史、江口元子女史に師事。1959年、米国サウスウエスター・バプテスト神学院宗教音楽学校学士課程卒業。66年、同音楽学校修士課程卒業。帰国後、67年5月に第一回リサイタルを開催。その後、数回リサイタルを重ねる。82年、再び留学。米国、オーストリアにて声楽の研究をなし帰国後、84年4月に第八回リサイタルを開催する。現在、西南学院大学文学部児童教育学科教授。



瀬川 啓子 <ピアノ伴奏>

福岡教育大学音楽科卒業。西日本新人演奏会に出演。ピアノを江頭恵美子、福田伸光の両氏に師事。現在、西南学院大学児童教育学科講師、福岡教育大学音楽科非常勤講師。

東 正行 <ホルン>

1983年、西南学院大学経済学部卒業。在学中は管弦楽団に所属し一年間学生指揮を務める。現在、西南学院大学OBオーケストラで活躍中。

堀 裕之 <ホルン>

現在、西南学院大学法学部3年生在学中。西南学院大学管弦楽団所属。

この店には くつろぎがある………
この部屋には いい音楽がある………
そして此処には何よりも美味しいコーヒーがある。

コーヒーハウス
トソソ

福岡市城南区別府1-4-1 (別府ロビル2カイ)
TEL 851-7091

西南学院グリークラブ 第33回定期演奏会

- 指揮 福永陽一郎
- 曲目 月下の一群 他

1984.12.9<SUN>
福岡郵便貯金ホール

V イタリア民謡集 [カンツォーネ]

南イタリアはナポリ。明るい地中海の風物にあふれる陽気な港町。ナポリといえば歌(カンツォーネ)なしでは語れない。

250年前から、町をあげての盛大な歌祭りが行われ、その中から芸術的にもすぐれた曲が生まれてきた。例えば「オーソレミオ」「マリアマリ」「サンタルチア」などは、世界中に有名な曲である。

本日は、ナポリ民謡を中心に美しいカンツォーネからおなじみの曲を、内海敬三の編曲によって演奏する。

…………… お楽しみ下さい ……………

I Veni Sul Mar [海に来たれ]

月の美しい夜、舟で恋人を待って歌うナポリ民謡。

II Non Ti Scordar Di Me [忘れな草]

1900年頃、クルティス(Ernsto de Curtis)の作曲によるが、日本では、1959年のドイツ映画『忘れな草』の主題歌として良く知られている。

III Torna a Sorrento [帰れソレントへ]

「忘れな草」と同じクルティスの作曲。船出していった恋人に、この美しいソレントを忘れずに、早く私の許へ帰って欲しいと歌う。

IV Funiculi Funicula [フニクリ・フニクラ]

1880年、ナポリのヴェスビオス火山にケーブルカーが開通した。その完成を祝って作られた。デンツァ(Truco Denza)の作曲。CMソングのはしり……。

V Mamma [マンマ]

遠くはなれて暮す母への思いを歌う。第2次大戦中、イタリア兵士たちが国の家族に思いをはせて愛唱したという。

恨みとあこがれと

寺田 健一郎

何が何でもグリークラブに入りたかったのだ。といっても、歌が好きだったわけではない。それほど、あの頃のグリーはカッコ良かったのである。

—あの頃。旧専門学校から新制大学に昇格したばかりで、三年前から男女共学になっていたが、同期四百名中、女子学生は十数人にしかすぎなかった。男、何するものぞ、新しい時代に新しい女の出現である。髪ふり乱してただひたすら勉学にいそむ。「男女七歳ニシテ席ヲ同ジュウセズ」で育った世代だから、うっかり声もかけられないのだ。女学生と顔を合わす場所は限られていた。教会の日曜礼拝に出席するか、音楽会にさそうかである。グリークラブの定期演奏会には女学生ファンが押し寄せていた。チェッカーズのコンサートに群がるギャル、なんてもんじゃなかったのだ。

うらやましかった。私もステージの上で歓声を浴びたかった。できれば指揮者になって花束も受取ってみたかった。

「うちに雑音はいらん」、無情にも私の入部懇願を断わったのが内海敬三君である。音符が全く読めないのだから、どうしようもない。あきらめきれずに「あの美空ひばり嬢もオタマジャクシが読めないというではないか」と哀願してみたのだが、ダメだったのだ。

それ以来、グリーへのあこがれと恨みは、私の心中深く屈折して残っている。

気のおけない宴席では、グリー出身者がいないのを確認してから、グリー出身だと云って独唱する。さすがにグリークラブは違うと、拍手かっさい、アンコールのくり返し。これは、やはり学歴詐称になるのであろうか。



— 男声合唱組曲「月光とピエロ」より —

西南シャントウール 小 史

西南シャントウールは昭和29年、西南学院(高等学部、専門部、大学)の卒業生を中心として結成された西南学院グリークラブOBの男声合唱団である。

シャントウール(CHANTEURS)という名称は 発足当時米国海軍に THE SEA CHANTERS という100名位の男声合唱団があり、又9人編成のフランスの CAMPANION DE LA CHANSONというユニークな男声合唱団があったので、フランス風の洒落た合唱団をつくろうと名称を SEINAN CHANTEURS と名付た。

結成されたその秋には、例年合唱コンクールで1位だった「福岡合唱団」を破って、全国大会に出場し、3位という好成績をおさめ、翌年(昭和30年)にも全国大会に出場して4位となる。昭和49年11月には創立20周年記念演奏会を少年文化会館で行なった。昭和54年12月の西南学院グリークラブの創立60周年記念特別演奏会(郵便貯金ホール)ではOBステージ、合同ステージの主力として、又その他毎年の合唱祭、メサイヤ、現役の定期演奏会等精力的な活動を続け、今日に至っている。

今日の演奏会は創立20周年記念演奏会以来10年ぶりの単独演奏会となる。

FOR YOU....

あなたとの出会い大切に——

この人マスター



心より
お待ちしております
おります!

南区野間1丁目6-8 ヘアースタylistサロン レオン Phone(092)541-0795

■ TOP TENOR

徳永麟之助	内海 洋一	宮地 基嗣	乙藤 成美	出口 幸一
西村 克俊	中村 稔	山元 一憲	飛松富士夫	倉地 進
大司 真	山口 聡	井上 淳一	中野 克彦	村上 正道
道家 正昇	羽野 和弘	杉安 祐一		

■ SECOND TENOR

的野 恭一	徳永 和彦	福田 豊	中尾 武史	石橋 一幸
福田 治	徳永 武雄	高川 弘幸	波左間 実	窪田 敏博
杉本 哲也	杉山 秀美	白土 典文		

■ BARITONE

林 照樹	内海 敬三	志渡澤 亨	森 博彦	松尾 淳郎
小西 真二	中嶋 恒生	首藤 純	友永 史朗	藤 寿

■ BASS

鶴原 太郎	木道 昇	田中 義信	横尾 和夫	藤村 文彬
毛利 正明	渡部 光晴	朔 正毅	野間 利博	副島陽一郎
宮地 純				

デザイン ● 平岡憲雄

ことばを超える新たな芸術創造の誕生。

すぐれた感性を芸術創造のエネルギーに変えて誕生したCFIIIは

伝統と新しさ、そして普遍性と独自性が調和し、

渾然とひとつに溶けあっています。

CFIIIは、人間が、そして人の表現の世界が決して歩みを止めないという確かなあかしです。

YAMAHA
CONCERT
GRAND PIANO | CFIII

88鍵(7オクターブ1/4) 高さ=103cm 間口=160cm 奥行=275cm
重量=580kg・黒艶出し塗装・象牙黒楕圓鍵盤・3本ペダル(リジスター付)

標準価格 ¥7,000,000

日本楽器福岡店

福岡市中央区天神1-11(福ビル1F) ☎721-7621

福岡市早良区西新2-10-1(西新パレス2F) ☎843-3627



YES
COKE®
YES

スカッとさわやかコカ・コーラ



北九州 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KITAKYUSHU COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)
Coca-ColaとCoke、コカ・コーラとコークは The Coca-Cola Company の登録商標です

*Seinan
Chanteurs*